

## 第33期 機青連 研修委員会10月例会

平成26年 10月22日 於 京都テルサ

有限会社植田製作所 植田 晃史

平成26年10月22日(水)に研修委員会10月例会を開催致しました。25名と多くの会員様にご参加いただきありがとうございます。

今回の例会はコラボレックス株式会社 代表取締役 岸野氏をお迎えし、「後継者が知っておくべき数字のとらえ方」～現状分析と今後の事業戦略～ というテーマで講演をしていただきました。

一部では元銀行員という立場から企業の決算書の注意する点、知っておくべき数字など、銀行から企業を見る目線の講演でした。ドラマ「半沢直樹」の事例で解説していただくなど、とても分かりやすい講演でした。銀行は企業のどこを見て融資を行うかなど（実質長期借入金の計算の方法）参加された会員様はとても良い気付きになったのではないのでしょうか？



二部では、企業側の立ち位置での銀行とのやり取りの講演をしていただきました。

メインバンクだけではなく、他銀行とも話をするようにし、お互いが常に緊張を保つ事も大事とありました。講演では経営面ではやはり、適正な運営、適正な利益を確保している企業は銀行から見ても強いとありました。

終盤では、そうであってもやはり人と人の関係も重要で、「こいつからは借りない！」や「こいつには貸すもんか！」などの人間ドラマが実際にあるとの

事でした。経営者は日頃から担当と定期的に情報交換を行い、信頼関係を結び、隠し事をしない事が良い関係を結ぶ第一歩とアドバイスも頂きました。銀行員は決算書だけでなく、現経営者、次期経営者の人間性もみている、そして経営者は会社運営、銀行とのやり取りも大事だが、経営者としての人格も磨かないといけないと感じました。ご参加頂いた会員様、誠にありがとうございました。

